

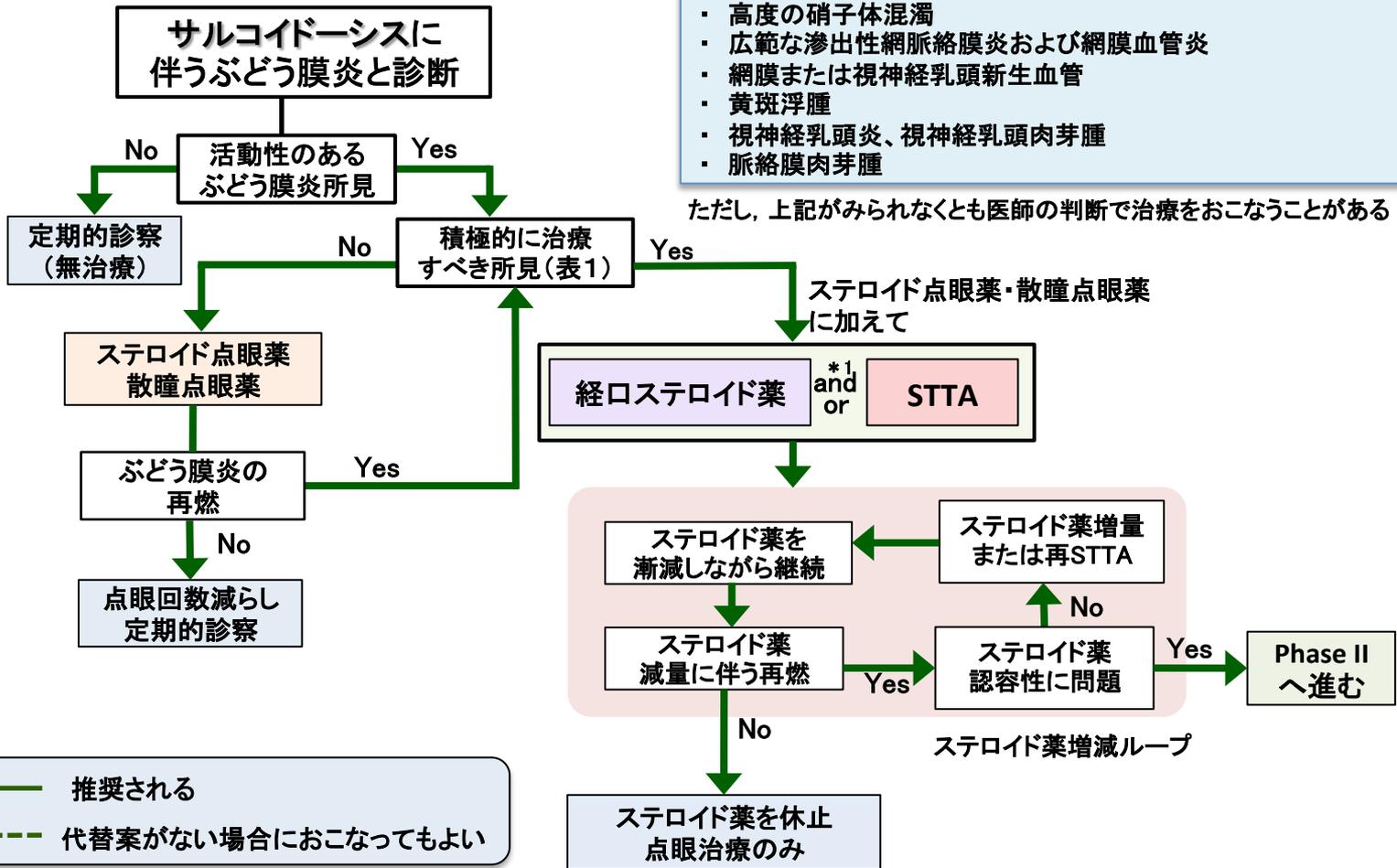
眼サルコイドーシスの治療手順

Phase I

表1 積極的に治療すべき所見
 (以下のような活動性病変があり視機能障害の恐れがある場合)

- ・ 重篤な前眼部炎症
 隅角または虹彩結節が大きく多数、あるいは虹彩上に新生血管あり
- ・ 高度の硝子体混濁
- ・ 広範な滲出性網脈絡膜炎および網膜血管炎
- ・ 網膜または視神経乳頭新生血管
- ・ 黄斑浮腫
- ・ 視神経乳頭炎、視神経乳頭肉芽腫
- ・ 脈絡膜肉芽腫

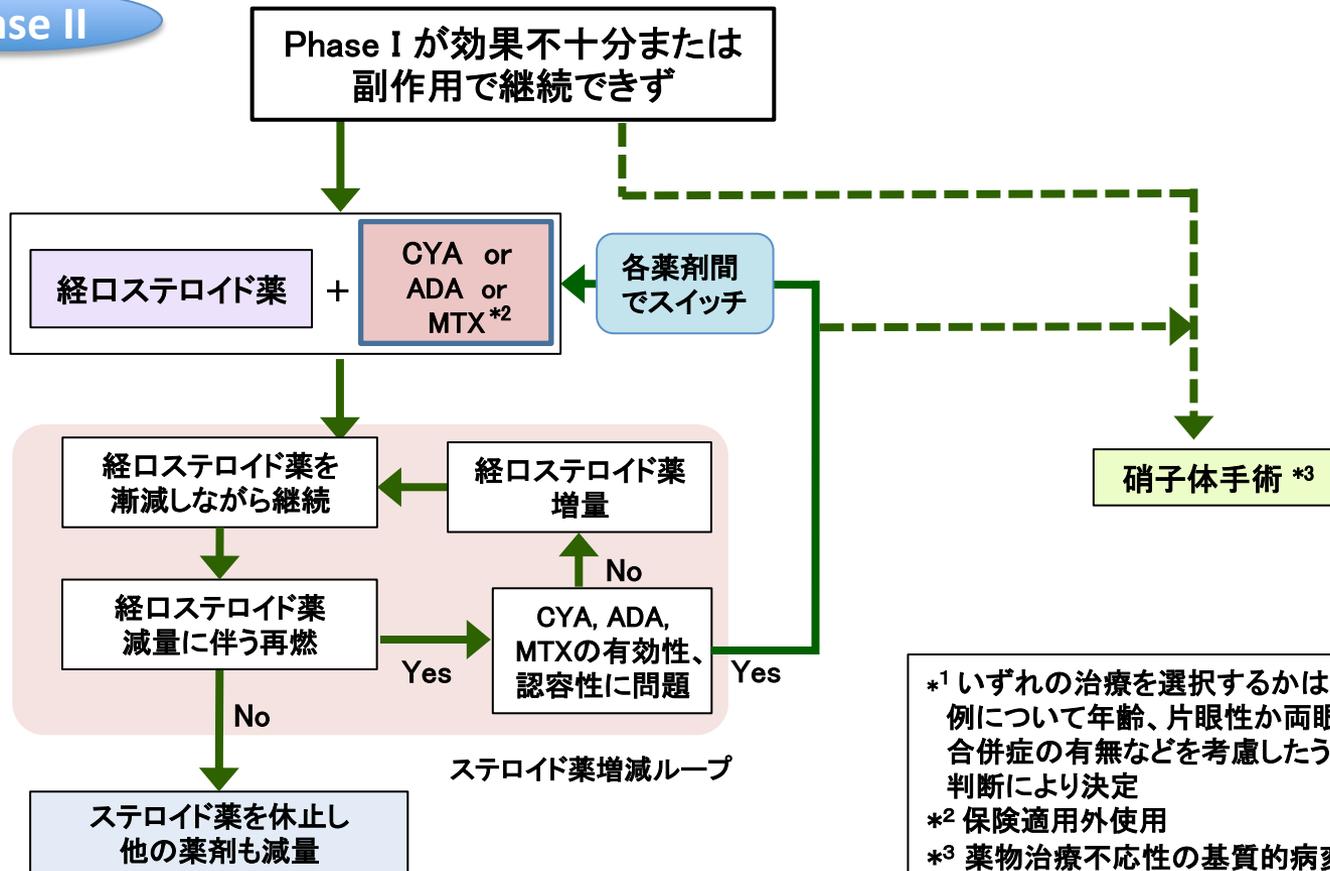
ただし、上記がみられなくとも医師の判断で治療をおこなうことがある



← 推奨される
 ←--- 代替案がない場合におこなってもよい

眼サルコイドーシスの治療手順

Phase II



- *1 いずれの治療を選択するかは、個々の症例について年齢、片眼性か両眼性か、全身合併症の有無などを考慮したうえで、医師の判断により決定
- *2 保険適用外使用
- *3 薬物治療不応性の基質的病変、一部の眼合併症に適応

STTA: トリアムシロン後部テノン嚢下注射
MTX: メトトレキサート
CYA: シクロスポリン
ADA: アダリムマブ

← 推奨される

←--- 代替案がない場合におこなってもよい